らしつよチャレンジ　2020「高校・大学合同　100周年記念ダンスパフォーマンス」

活動地域、場所：京都北文化会館　　活動時期：2020年5月～2020年12月

代表者所属・氏名　発達教育学部児童学科3回生　伊東　奈那

事業の目的

●京都女子高校との連携
●創基100周年を祝うと同時に、京都女子大学の使命である
「らしさを　つよさに　未来をひらく」を多くの人に 知ってもらう
●学生に自分自身の「らしさ」を大切にしてもらう
●京都女子高校ダンス部、京都女子大学創作舞踊部の
パフォーマンス向上を目指す

事業の成果

●自分らしさや今年らしさを体で表現することが
できた、また観ている人にも感じてもらえた。
●1つの公演を1から作り上げることの大変さ、 達成感を味わった。
●高校生との合同作品を作ることはできなかったが、
同じ公演に向かって互いに精一杯練習をすることができた。
（パフォーマンス向上につながった）

活動の様子

5月～9月：Zoom練習

10月～12月：対面練習

12月27日：公演当日

プログラム

コロナ対策

●来場者
・1軒1名、OGのみの来場（同意書を提出した人のみ）
→来場者それぞれの氏名、住所、電話番号の情報
を名簿化し、管理した。
・入場前に検温を行い、マスク着用を徹底した。
・指定席とし観客同士が近くならないようにした。
・事前に余裕を持った入退場時間を設定し、時間差での
入退場を行えるようにした。
●出演者
・公演の2週間前後毎日検温を行い、記録した。
・練習、本番ともにマスクを着用したまま行った。
・楽屋を細かく分け、密にならないようにした。
・各楽屋と舞台袖へ消毒液を設置した。

アンケート結果

●京女の使命の「らしさを　つよさに　未来をひらく」の
テーマは感じられたかどうか。
→はい　100%

《理由》
・限られた条件の中、今年らしさが感じられ、その中で
できる限りの表現力と強さが感じられたから。
・公演後の姿から「らしさを　つよさに　未来をひらく」という
テーマ通りだったと感じたから。

（公演後アンケート21名より）

作品紹介

《らしつよチャレンジ採択動画》

⇒同じ動画が京女公式ホームページにも
掲載されています。是非ご覧ください。

全14作品中 2作品のご紹介です

⇒「ハニー」

⇒「生（イキル）」